

1. 「バス・市電無料の日」開催経費【30,500千円】

(1) 事業概要

■目的

公共交通を利用する“きっかけ”をつくるとともに、公共交通への転換による渋滞解消、更には市域の賑わい創出を図る

■実施内容

対象路線：熊本市を一部でも通過する路線バス及び熊本電鉄電車、熊本市電の全線（一部対象外路線あり）
実施日：未定（事業者と協議のうえ決定）
実施主体：熊本市（協力：各交通事業者）
事業効果：公共交通利用者数の増加、渋滞の緩和、賑わい創出など

■事業費内訳

負担金：20,000千円（減収補填、増便対策 など）
委託費：10,500千円（広告、効果分析 など）
※今年度の「バス・電車無料の日」については、当初予算（1回分）も含め、合計2回の開催を予定

参考：効果分析結果（令和4年12月24日実施分）

■公共交通の利用者数

公共交通利用者数は前年比で約1.5倍に増加

■自動車交通量

主要交差点における流入交通量は減少傾向

■中心部の賑わい

中心市街地への来訪者数は全ての時間帯で増加
特に日中の増加率は昨年比で約1.3倍と高い

■経済効果

無料の日による経済波及効果は約1.14億円

■環境負荷軽減効果

公共交通への転換により約43 tのCO₂が削減
（杉の木約5,090本分、東京ドーム約1.1個分）



2. 「バス・電車100円の日」開催経費【79,500千円】

(1) 事業概要

■目的

一定期間、公共交通の料金割引を実施することにより、公共交通の利用促進を図るとともに、料金の低減化に伴う利用状況の変化についてデータを収集・分析し、今後の施策展開につなげていくもの。

■実施内容

実施期間：1週間（実施時期は事業者と協議のうえ決定）
対象路線：熊本市を一部でも通過する路線バス及び熊本電鉄電車、熊本市電の全線（一部対象外路線あり）

■データ収集・分析

交通ICデータ、アンケート調査等から、利用者が増えた曜日や時間帯、OD（※）、利用回数など割引運賃による行動変容パターンを分析
※ODとは、出発地（Origin）と到着地（Destination）の略語

■事業費内訳

負担金：66,500千円（減収補填、システム改修 など）
委託費：13,000千円（効果分析、施策検討 など）

